

図書だより

5月

田原本町立北中学校
令和4年5月
第2号



今年度初めての専門委員会が実施され、新しいメンバーによる貸し出しが始まりました。今のところ、1年生の利用が一番多く、お昼休みの図書室は大変にぎわっています。

さて、いよいよ1年生にとって初めての定期テストが始まりますが、準備は進んでいますか。慣れるまでは、どのような計画でテスト勉強を進めたらいいか手探りだと思いますが、少しずつやり方を変えたり、先輩に聞いたりして、自分なりのテスト勉強の方法を見つけていってください。

テストが終われば、そろそろ梅雨入りですね。梅雨に入るとなかなか外に出て走り回ることができません。そんなときこそ、たくさん本を読みましょう。今年度も早速本を注文しました！ 課題図書も決定し、注文も済ませています。課題図書については来月号で紹介します。今回は、部活関連本を紹介したいと思います。ぜひ参考にしてみてください。



おすすめの部活本

陸上

「ダッシュ!」/村上 しいこ(講談社)

ロンドン五輪リレー選手・土井杏南さんも推薦! 実力は平凡、リーダータイプじゃない三雲真歩が、陸上部の次期キャプテンに指名される。キャプテンらしいことは言えず、タイムも切れず、おまけにみんなともぎくしゃくしてはじめて……。ぱっとしない真歩は、生まれ変わることができるのか? よろこびも悲しみも、すべてをわかちあえる仲間と、最後まで歩めるのか? 熱い思いを秘めた、新しい青春小説が今、生まれる!



バレーボール



「2.43 清陰高校男子バレー部」/壁井 ユカコ(集英社)

東京の強豪中学バレーチームで仲間を自殺未遂に追い込んでしまった灰島公誓は、子供時代を過ごした母方の郷里・福井に転居し、幼なじみの黒羽祐仁と再会。ずばぬけた身体能力を持ちながらプレッシャーに弱い黒羽と、バレーへの圧倒的な情熱と才能ゆえに周囲との摩擦を引き起こしてばかりの灰島はエースコンビとして成長していく。だが、中学最後の県大会で二人は衝突。絶縁状態のまま、やがて地元の清陰高校に共に進学する。身長163cmの熱血主将小田と身長193cmのクールな副主将青木の凸凹コンビや日光アレルギーで常に長袖長ズボンの2年生棺野らと出会い、黒羽と灰島はもう一度バレーで全国を目指すが……

バスケットボール



「跳べ、暁!」/藤岡 陽子(ポプラ社)

母親を病で失い、気力を失くして会社を退職した父親と実家のある田舎へ越してきた14歳の春野暁(あかつき)。バスケットに情熱を燃やしていたものの、転校先の平川中に女子バスケット部はない。そこで暁は、学年イチの秀才で運動神経ゼロの欣子、日本に不法滞在の身でほとんど学校に来ていないタンザニア人のプリミアたちと女子バスケット部を立ち上げる。だが、暁以外は初心者でルールさえもよくわからず、練習場所にも事欠く始末。さらにそれぞれの家庭の事情にも苦しめられる。そんなとき、暁の前を華麗なフォームで長身の少女が走り抜ける。それが、暁と本田薫との出会いだった……。

バドミントン

「バドミントン★デイズ」/赤羽 じゅんこ(偕成社)

「ムリムリムリ」が口ぐせで弱気な美優、負けず嫌いで、勝負にこだわるくるみ、受験のために部をやめることをいいたせないナノ、ほっとかれるのが好きという不思議ちゃん、理音。

ばらばらだった4人が、ホームポジションを見つけるまでの物語。



裏にも続くよ!

野球



「あの夏の正解」／早見 和真(新潮社)
 コロナ禍で甲子園が中止になった夏。夢を奪われた選手と指導者はどう行動したのか。「このまま終わっちゃうの」？
 2020年、愛媛の済美と石川の星稜、強豪2校に密着した元高校球児の作家は、彼らに向き合い、「甲子園のない夏」の意味を問い続けた。退部の意思を打ち明けた3年生、迷いを正直に吐露する監督……。パンデミックに翻弄され、挑戦することさえ許されなかったすべての人に送るノンフィクション。

その他のスポーツ



「スイマー」／高田 由紀子(ポプラ社)
 向井航、小学六年生。東京の強豪スイミングクラブで、速くなることだけを目指して打ち込んできたが、ある日を境に挫折し水泳から遠ざかっていた。そんなとき、引っ越した佐渡で出会った同級生の海人・信司・龍之介の三人は、地元のプール存続のため、航を水泳に誘ってくるが……。荒ぶる十代の熱が水の中を疾走する、佐渡が舞台のガチ青春競泳小説！

吹奏楽



「吹奏楽部アナザーストーリー」オザワ部長／(ベストセラーズ)
 本書では、高校吹奏楽の頂点を目指して毎日ひたむきに努力しながら、彼らが胸に秘めている「コトバ」の数々を切り口に、その青春の物語を引き出しました。すると、通常の取材とは少し違った物語「アナザーストーリー」が浮かび上がってきました。
 ぜひ中高生から大人までが共感できる、純粹でまぶしい「コトバ」と「ストーリー」をお読みください。



「Go Forward!： 桜木学院高校ラグビー部の熱闘」／花形 みつる (ポプラ社)
 名門大学ラグビー部出身だが就職に失敗し、伝手で私立桜木学院高校の臨任体育講師となった坂田は、ラグビー部の立ち上げと花園出場を命じられ、背水の陣で挑むことに。はじめは入部希望者ゼロで悪戦苦闘するものの、奇跡的に7人制セブズの試合で神奈川県準優勝。調子づいて夏休みの菅平合宿に突入するが……。個性的な部員たちの人間模様と成長、ラグビーの迫力と面白さ、汗と泥と涙が詰まった感動の青春小説！

テニス



「オン・ザ・ライン」／朽木 祥(小学館)
 ウルトラ体育会系だけれども活字中毒でもある文学少年、侃(カン)は、高校に入り、仲良くなった友だちに誘われて、テニス部に入るようになった。初めて手にするラケットだったが、あっという間にテニスの虜になり、仲間と一緒に熱中した。テニス三昧の明るく脳天気な高校生活がいつでも続くように思えたが……。ある日、取り返しのつかない事故が起きる。少年たちは、自己を見つめ、自分の生き方を模索し始める。少年たちのあつい友情と避けがたい人生の悲しみ。切ないほどにきらめく少年たちの日々の物語。

4月の多読賞！

順位	1年生	冊数	順位	2年生	冊数	順位	3年生	冊数
1		8	1		2	1		8
2		7			2	2		2
3		6			2			2
4		5						2
5		3						
		3						
7		2						
		2						
		2						

まだ4月なのに、こんなにたくさん読んでくれてありがとう！ これからもたくさん読んでね！